

インフラ開発とアプリケーション実装の役割分担で、短納期での納品を実現。 独立行政法人への財務会計システムの構築を支援



ナレッジディストリビューション株式会社

業種 情報通信業

従業員数 22名

事業所在地 東京都港区六本木

主な事業内容

ERPソリューションの構築支援・評価、アウトソーシングサービス（業務請負）、人材派遣（事務職・技術者・専門職）、ソフトウェア開発及びIT技術者派遣

ホームページ <https://knowledge-dc.co.jp/>

導入サービス ■クラウド導入・運用サービス
■Microsoft Azure リセール

サービス導入時期 2022年10月

ご担当者さま

代表取締役 高橋 知義さま
営業本部 DXソリューション&サービス事業部長 白田 毅さま

パートナーとしての NTT東日本の選定理由

- ✓ 顧客も自社も信頼してクラウド構築、運用をお任せできること
- ✓ 自社はクラウド構築にエンジニアリソースを割くことなく、アプリケーションに集中できた
- ✓ 問い合わせに対して迅速かつ的確な対応を受けることができた

2006年の創業以来、「お客様の満足度」を最も重要視し、ERPソリューションの構築支援などの事業を手掛けるナレッジディストリビューション株式会社。株式会社 Y.C.O. が開発した独立行政法人向け管理会計ソリューション「BASE-One」の総販売代理店としての資格を持ち、独立行政法人、地方自治体を対象としたERPソリューションの導入、運用支援にも力を入れています。

2022年には、ある独立行政法人さまの財務会計システムをクラウド環境に構築するプロジェクトを受託し、その際のクラウド構築、運用を支援するパートナーとしてNTT東日本を選定、お取り組みいただきました。

1. NTT東日本への相談のきっかけ

開発リソースがアプリケーション寄りのため、インフラ開発に強いパートナーが必要だった

もともと民間企業のお客さまを対象にサービス提供していた頃の実績と経験を活かしながら、民間企業とは異なる会計基準や制度（独立行政法人会計基準、地方公会計制度）に則ったERPパッケージをご提案していることが弊社の特長です。

その一方、社内の開発リソースがアプリケーション寄りとなっており、インフラ開発のノウハウやスキルは社内には持ち合わせていません。また、今からインフラやミドルウェアのエンジニアを採用し、育成する余裕もありません。そのため、独立行政法人や地方自治体からインフラ開発までを網羅した提案依頼があった場合には、インフラに強みを持つパートナー企業と手を組む必要があったのです。（高橋さま）

今回弊社がご支援させていただいた独立行政法人さまのRFP（提案依頼書）では、独立行政法人会計基準に準拠した財務会計システムをクラウド環境に構築することが求められており、Microsoft Azureが指定されていました。

その独立行政法人さまは取り扱う金額規模に対して人員が少なく、またIT部門を最小限の人員で運営しているのが特徴で、ERPパッケージの導入と運用の手間をできるだけ減らすこと、そしてITにおけるBCP対策を盤石にすることがプロジェクトの狙いでした。（白田さま）



2. クラウドビジネスパートナーとして NTT東日本を選定された理由と NTT東日本の魅力

過去の実績、全国規模のサポートで、顧客も自社も安心してお任せできた

弊社が苦手とするインフラ開発をサポートいただけるパートナー企業として、NTT東日本さまを選定させていただきました。選定にあたっての1番大きな要素として、顧客も弊社も信頼できることが挙げられます。クラウドの運用を業界大手の企業にお任せできれば、弊社は安心してアプリケーション構築に開発リソースを割くことができます。

また、顧客のご担当者さまは出張も多いため、リモート環境で財務会計システムにログインすることも多々あるとのことでした。全国規模でインフラをサポートいただける体制が整っている企業は、そう多くはないでしょう。そういう点でも、NTT東日本さまは高評価でした。(高橋さま)

弊社からの問い合わせに対しても、迅速かつ的確にご対応いただけたことが印象に残っています。当時はまだまだMicrosoft Azureについて私も分からないことがあったのですが、とても助けられました。(白田さま)

3. 「クラウド導入・運用サービス」の取り組み状況

クラウド構築自体は3週間で完了。スケジュール通りに進行し、導入後の運用代行も安心

プロジェクトのキックオフから本番環境システムのテストを経て本番環境へ移行するまで、およそ6ヶ月のプロジェクトでした。NTT東日本さまにご担当いただいたMicrosoft Azureの構築作業自体は3週間で完了しました。弊社のエンジニアはほぼノータッチでしたが、まったく問題なく当初のスケジュール通りに構築を進めていただいています。NTT東日本のご担当の方は、インフラに関する専門的な知識と実績をお持ちだったので、アプリケーション側のエンジニアからの要望や質問に対してもご対応いただけて助かりました。

また、NTT東日本さまにクラウド環境の運用代行までをご依頼しており、アドバンスプランを選定しました。ビジネスアワーを含めた24時間365日の監視・保守対応で、アラーム発生時は一次措置だけでなく、二次措置までご対応いただけることは高評価でした。二次措置のフローはレギュレーション化されており、とてもスムーズに対応いただけており、顧客にも満足いただけているポイントだと思います。(白田さま)

4. 導入後の成果

1年かかってもおかしくないプロジェクトを6ヶ月で。自社ではアプリケーション実装に専念できた

プロジェクト全体のスケジュールを6ヶ月に収められたことが1番の成果です。もし1社単独で実行しようとするれば、通常1年近くはかかるスケ

ジュールになるはず。さらに予定の運用開始日から1日も遅れずにリリースできたことも高く評価しています。インフラ構築と同時並行でアプリケーション側の構築に開発リソースを割くことができたため、短納期を実現しました。

アプリケーションエンジニアからは「ミドルウェア調整を考える必要がないのは特に助かった」との声を聞いています。弊社のエンジニアは自身の得意分野に専念でき、100%の能力を発揮できたのは経営者として嬉しい限りです。(高橋さま)

インフラ構築をNTT東日本さまにお願いすることによって、顧客には安心していただけていたと思います。大きなクレームやご指摘が入ることは一切なく、ノーコンプレインで進行できています。大きな問題が起きなかったことも、目立たないかもしれませんが大きな成果だと考えています。(白田さま)



5. 今後のお客さまの展望

今回の取り組みで得られたノウハウや経験をもとに、倍の規模のプロジェクトにも参加したい

弊社が今後成長していくため、より大きな案件をこなすためにも、アプリケーションに強いエンジニアの採用や入札参加資格の取得にもっと積極的にならねばと考えています。今回の取り組みも決して小さな案件ではありませんでしたが、倍以上の規模のプロジェクトにも参加できるように体制を強化していきたいですね。

ただ、プロパーの社員だけでは、大きな案件をこなすにはまだまだ力不足です。今回の座組のようにアプリケーション開発会社と、インフラをお任せできるパートナー企業としっかりアライアンスを組んでいきます。そのためにも今回のNTT東日本さまとの取り組みで得られたノウハウや経験を横展開していく予定です。(高橋さま)

※ 文中記載の組織名・所属・肩書き・取材内容などは、すべて2024年2月時点(インタビュー時点)のもので

※ 事例はあくまでも一例であり、すべてのお客さまについて同様の効果があることを保証するものではありません。

※ Microsoft Azure (Azure) は、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

